



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ゴールドウィン

コード番号 8111 URL <http://www.goldwin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 二川 清人

TEL 03-3481-7203

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	26,469	1.7	683	59.3	869	13.8	591	103.8
28年3月期第2四半期	26,039	4.8	429	37.7	764	4.6	290	△45.7

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1,120百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 510百万円 (△24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	51.53	—
28年3月期第2四半期	25.30	—

※平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	58,075	27,841	47.9
28年3月期	57,315	29,614	51.6

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 27,816百万円 28年3月期 29,580百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,200	△0.9	2,950	△5.7	3,950	△5.5	3,000	△11.0	261.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	11,912,043 株	28年3月期	11,912,043 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	420,989 株	28年3月期	425,398 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	11,488,161 株	28年3月期2Q	11,479,568 株

※平成27年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府の各種経済政策による下支えはあるものの、本格的な景気浮揚には至っておらず、個人消費も総じて盛り上がりには欠け低調推移が続いております。また、中国を始めとするアジア新興国の景気停滞や資源価格低下によるロシア、ブラジル等資源産出国の経済低迷、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性が高まっており、我が国経済への波及が憂慮される状況であります。更に猛暑の後の長引く残暑等天候不順の影響による景気下振れ懸念もあり、国内経済の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下で、当社グループ(当社、連結子会社および持分法適用会社)は当連結会計年度(第66期)を初年度とする平成33年3月期(第70期)までの中期経営計画を策定し、その遂行に全社を挙げて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、売上高については、前期末のチャンピオン事業譲渡に伴う減収はありましたが、「ザ・ノース・フェイス」、「ヘリー・ハンセン」ブランド等アウトドアブランドの春夏商品の販売が直営店を中心に好調に推移し大幅増収になったこと、また「カンタベリー」、「ブラックアンドホホワイト」ブランドの販売も総じて堅調に推移したこと等によりカバーし、前年同期比430百万円の増収となりました。

営業利益については、増収による粗利益の増加に加え、直営店を中心とするリテール売上の拡大と、返品・値引等の販売ロスを削減出来たこと等により粗利益率が1.7ポイント改善し粗利益が大幅増となりました。一方で、出店増に伴う人件費を中心に販売管理費も増加しましたが、粗利益増がこれら販売管理費増を上回った結果、前年同期比254百万円の増益となりました。

経常損益については、韓国における持分法適用関連会社であるYOUNGONE OUTDOOR Corporationの第2四半期業績が低調に推移したこと持分法投資利益が前年同期比136百万円減少いたしました。単体事業での営業増益に加え、その他連結子会社業績が総じて堅調であったことから、前年同期比105百万円の増益を確保することが出来ました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高26,469百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益683百万円(前年同期比59.3%増)、経常利益869百万円(前年同期比13.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益591百万円(前年同期比103.8%増)となりました。

当社グループの売上高は取扱商品の特性上、上半期と下半期の業績に季節的変動があるため、連結会計年度の上半期と下半期の売上高との間に著しい相違があります。

なお、記載金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は58,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ760百万円増加しました。これは主に、商品及び製品の増加1,932百万円、現金及び預金の増加1,713百万円、投資有価証券の減少1,647百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,533百万円増加し、30,234百万円となりました。これは主に、借入金の増加3,601百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,772百万円減少し、27,841百万円となりました。その結果、自己資本比率は47.9%となっております。

#### (キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は7,868百万円となり、前連結会計年度末より1,867百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは1,561百万円(前年同期は1,196百万円の使用)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益860百万円があったものの、たな卸資産の増加2,023百万円や仕入債務の減少420百万円等があったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られたキャッシュ・フローは842百万円(前年同期は3,808百万円の使用)となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは2,562百万円(前年同期は5,725百万円の獲得)となりました。これは主に、短期借入れによる収入によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期を終えた段階ではご報告の通り当初見通しを上回る進捗となっておりますが、第3四半期以降については、当社にとって扱い比率の高い秋冬商品販売のピークを迎えることから、その推移次第で変動する可能性があり、現段階においては平成28年5月13日に公表いたしました予想数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において非連結子会社でありましたGOLDWIN AMERICA INC.は重要性が増したことにより、当第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,388	9,102
受取手形及び売掛金	11,180	10,874
商品及び製品	9,348	11,280
仕掛品	142	50
原材料及び貯蔵品	619	606
その他	2,426	2,306
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	31,101	34,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,483	1,417
土地	671	671
その他(純額)	1,418	1,508
有形固定資産合計	3,573	3,598
無形固定資産		
商標権	19	26
その他	1,015	1,006
無形固定資産合計	1,034	1,033
投資その他の資産		
投資有価証券	17,776	16,128
差入保証金	2,548	1,769
その他	1,587	1,634
貸倒引当金	△306	△303
投資その他の資産合計	21,606	19,228
固定資産合計	26,214	23,860
資産合計	57,315	58,075

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,251	6,896
電子記録債務	7,140	6,076
短期借入金	668	4,868
1年内償還予定の社債	300	300
1年内返済予定の長期借入金	1,475	1,331
未払法人税等	394	284
賞与引当金	738	781
返品調整引当金	654	327
その他	3,812	3,526
流動負債合計	21,435	24,392
固定負債		
長期借入金	3,219	2,765
退職給付に係る負債	461	296
株式給付引当金	139	205
その他	2,445	2,573
固定負債合計	6,265	5,841
負債合計	27,700	30,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,079	7,079
資本剰余金	4,023	4,035
利益剰余金	20,713	20,621
自己株式	△1,333	△1,325
株主資本合計	30,482	30,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	165
繰延ヘッジ損益	△16	△8
為替換算調整勘定	1,239	△647
退職給付に係る調整累計額	△2,325	△2,103
その他の包括利益累計額合計	△901	△2,594
非支配株主持分	34	24
純資産合計	29,614	27,841
負債純資産合計	57,315	58,075

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	26,039	26,469
売上原価	14,642	14,441
売上総利益	11,396	12,028
返品調整引当金戻入額	204	327
差引売上総利益	11,600	12,355
販売費及び一般管理費	11,171	11,671
営業利益	429	683
営業外収益		
受取利息	8	6
受取配当金	36	37
持分法による投資利益	322	186
その他	65	47
営業外収益合計	432	277
営業外費用		
支払利息	56	48
その他	40	43
営業外費用合計	97	91
経常利益	764	869
特別利益		
有形固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産処分損	6	1
店舗閉鎖損失	37	4
投資有価証券評価損	0	1
特別退職金	160	—
その他	1	2
特別損失合計	205	10
税金等調整前四半期純利益	559	860
法人税、住民税及び事業税	266	242
法人税等調整額	4	19
法人税等合計	271	262
四半期純利益	287	598
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	290	591



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	287	598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40	△35
繰延ヘッジ損益	△2	8
為替換算調整勘定	49	△253
退職給付に係る調整額	195	221
持分法適用会社に対する持分相当額	△59	△1,659
その他の包括利益合計	222	△1,718
四半期包括利益	510	△1,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513	△1,126
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	6

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	559	860
減価償却費	543	529
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△274	△138
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	△165
のれん償却額	24	24
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	△0
受取利息及び受取配当金	△44	△43
支払利息	56	48
持分法による投資損益(△は益)	△322	△186
固定資産処分損益(△は益)	6	0
売上債権の増減額(△は増加)	△97	306
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,368	△2,023
仕入債務の増減額(△は減少)	1,465	△420
未払消費税等の増減額(△は減少)	△674	△278
その他	225	406
小計	△905	△1,080
利息及び配当金の受取額	44	43
利息の支払額	△65	△50
法人税等の支払額	△270	△474
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,196	△1,561
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△291	△234
定期預金の払戻による収入	40	310
有形及び無形固定資産の取得による支出	△464	△197
投資有価証券の取得による支出	△3,037	△13
投資有価証券の売却による収入	2	14
差入保証金の差入による支出	△52	△31
差入保証金の回収による収入	79	821
事業譲渡による収入	—	206
その他	△85	△34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,808	842
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,050	4,200
長期借入れによる収入	3,200	150
長期借入金の返済による支出	△674	△748
リース債務の返済による支出	△268	△390
自己株式の取得による支出	△7	△6
配当金の支払額	△593	△653
その他	19	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,725	2,562
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	738	1,801
現金及び現金同等物の期首残高	4,308	6,001
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	65
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,046	7,868

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ用品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。